

国公立担当6班 報告書

徳力幹彦（班長）、太田康彦、島田章則、大西堂文、田浦保穂、林俊春、萬場光一、堀井洋一郎、永友寛司、坂本紘、岡達三、出口栄三郎

目的

山口大学連合獣医学科の参加校 4 校（鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学）による獣医学教育改善の具体策の検討について。

はじめに

平成 9 年 4 月に、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学に存在する獣医学科の代表が集まり、獣医学科再編の運動について話し合いが始まり、「西日本四大学再編整備検討委員会」を結成することを同意した。これが、西の地方大学 4 校の再編の始まりである。その経過は要旨にまとめ、その詳細に関しては、要旨の後に挙げてある 30 回にわたる議事録にすべてが盛り込まれている。また、この運動を受けて、九州大学は私的研究会を発足させた。その経過については、これまで 2 回開催された経過報告に挙げてある。この私的研究会を経過して、獣医学府等検討委員会が九州大学に作られ、現在、九州大学獣医学部が可能か否かの検討が行われている。

獣医学科再編整備運動の概略

1) 平成 9 年 4 月： 国公立大学獣医学協議会(会長 牧田登之)で、平成 9 年 2 月に大学基準協会から出された「獣医学教育に関する基準」に基づき、少なくとも学生 60 人、教官 72 人の基準を満たす努力をすることが決定された。そして、東と西の地方大学 4 校ずつが集まり、ひとつの獣医学部を目指すこと、および北大、東大、府立大は自助努力することが決められた。

このとき、西の 4 校(鳥取、山口、宮崎、鹿児島の各大学獣医学科)が再編に関する委員会(委員長 徳力幹彦)を作った。

- 2) 平成 9 年 10 月： 第 2 回再編委員会で西に存在する鳥取大学、山口大学、宮崎大学、および鹿児島大学の各獣医学科は九州大学獣医学部の可能性を模索することが同意された。
- 3) 平成 10 年 2 月： 第 4 回再編委員会で、委員長私案の「九州大学獣医学部設置趣意書」が大筋で認められた。
- 4) 平成 10 年 2 月： 委員長が文部省の専門教育課長補佐に再編の説明をした。
- 5) 平成 10 年 4 月： 委員長が杉岡九大総長と話し合った。5 月には九州大学改革推進委員

会(新学部などを立ち上げる際にかかれる委員会)で獣医学部案について説明をした。

6) 平成 10 年 8 月： 日本獣医師会長らとともに山中貞則代議士に会い、委員長が再編を説明した。

7) 平成 10 年 9 月： 日本獣医師会長らとともに江藤隆美代議士に会い、委員長が再編を説明した。

8) 平成 10 年 10 月： 山口県の畜産課と山口県獣医師会に再編を説明した。以後、各大学獣医学科も県に説明に行った。

9) 平成 10 年 10 月： 委員長が四大学の農学部長に集ってもらい再編を説明した。

10) 平成 10 年 10 月： 朝日新聞の一面に獣医学科再編の記事が掲載された。

11) 平成 10 年 11 月： 委員長が文部省の専門教育課に説明に行った。四大学の学長に集ってもらい、委員長が再編を説明した。

12) 平成 10 年 11 月： 山口大学農学部の教官会議(農学部の最高議決機関)で、他の獣医学科が同様の許可をとれば、九州大学と獣医学部創設に関する話し合いを行ってよいとの理解をもらった。

13) 平成 11 年 2 月： 宮崎大学の農学部教授会(農学部の最高議決機関)で、条件付きながら、九州大学からプラスの概算を出す場合には、宮崎大学農学部からマイナス概算を出しても良いとの承諾をもらった。

14) 平成 11 年 6 月： 1 年余にわたる検討の結果、カリキュラム案を含む「九州大学獣医学部設置趣意書」が大筋で認められた。

15) 平成 11 年 10 月： 国公立大学獣医学協議会(会長 徳力幹彦)で、獣医学科の再編整備は 13 年度概算を目指すことが決議された。これを受けて、10 月の第 18 回再編委員会では、鳥取大学と鹿児島大学の獣医学科は、11 月末までに、何らかの了解を農学部からもらってくるよう、最大限の努力をすることになった。

16) 平成 11 年 11 月： 四大学の農学部長に博多に集ってもらい、再編整備運動について説明した。

17) 平成 11 年 11 月、山口大学農学部教官会議で、(他の獣医学科が同様の条件をとってくるなら)という前提条件無しに、九大との交渉が認められた。

18) 平成 11 年 11 月、鳥取大学と鹿児島大学の獣医学科は、農学部の承認を得られなくとも、九州大学との交渉には参加することになった。

19) 平成 12 年 1 月： 西の大学の教官を中心にして、農学部教官(福原、作野、小見山)と獣医学科教官(原田、立山、坂本、阿久沢、佐々木、徳力)がともに米国の獣医学協会と獣医学部(北カロライナ州立大学、ペンシルバニア大学、コーネル大学)を視察した。

20) 平成 12 年 1 月： 九大杉岡総長、柴田副学長に、3 年弱にわたる再編整備運動を総括

して、2 獣医学科は農学部から九大との交渉を認められていること、2 獣医学科は認められていないという条件下で、九大獣医学部案の検討を要請した。

21) 平成 12 年 1 月： 九大総長より、農学部から交渉の了解を得ている 2 獣医学科で九大獣医学部案を検討してもよいとの電話をもらった。

22) 平成 12 年 2 月： 第 21 回再編委員会で、2 獣医学科が先行するのではなく、4 獣医学科で獣医学部を作る方策を九大と模索することで同意した。

23) 平成 12 年 2 月： 文部省に 4 獣医学科長とともに説明に行った。

24) 平成 12 年 2 月： 4 獣医学科長とともに九大杉岡総長、矢田副学長と話し合い。総長の呼びかけによって作る私的研究会を発足させることが決まった。

25) 平成 12 年 3 月： 文部省の要請で、文部省に行き、各獣医学科長とともに再編について文部省に説明した。

26) 平成 12 年 4 月： 国公立大学獣医学協議会で、再編は平成 13 年度概算を目指すことを再確認した。

27) 平成 12 年 4 月： 第 25 回再編委員会で、4 校で獣医学部を作るという目的は不変であるが、そこに至る手段として、2 校案を先行させることを決定した。

28) 平成 12 年 6 月： 山口大学農学部臨時教官会議で、「九州大学より獣医学部を設置する案（九州大学案）が提出された場合には、山口大学農学部は前向きに検討する」ことが了承された。

29) 平成 12 年 6 月： 九州大学において、第 1 回私的研究会（委員長渡辺先生）を開催した。

30) 平成 12 年 9 月： 九大で第 2 回私的研究会が開催された。

31) 平成 12 年 10 月： 第 48 回国公立大学獣医学協議会で、以下の 4 項目が決議された。

1) すべての獣医学科が再編に参加する、2) 他の枠組みも模索する、3) 3-4 校に集約する、4) 2 校先行案を全面的に支持する。

32) 平成 12 年 10 月： 九大部局長会議が、獣医学府等検討委員会（委員長渡辺先生）を設立した。

33) 平成 12 年 11 月： 東の地方大学の教官が中心となって、欧州の獣医大学 / 学部（フランスのアルフォール獣医大学、オランダのユトレヒト大学獣医学部、オーストリーのウィーン獣医大学）を視察。農学部教官（高橋、太田、石井、渡辺、林）、獣医学科教官（林、徳力）の他に、九大の獣医学府等検討委員会委員長（渡辺）が参加した。

34) 平成 12 年 11 月： 第 2 回獣医学府検討委員会が開催された。

35) 平成 13 年 1 月： 臨時国公立大学獣医学協議会で、国立大学の再編は、北大、東大、九大に集約することが決議された。

36) 平成 13 年 1 月： 九大が山口と宮崎の獣医学科の教官 2 名ずつをオブザーバーとして獣医学府等検討委員会に加えることを決定した。

37) 共同通信社が各地の地方新聞に再編についての記事を流した。

西日本四大学再編整備検討委員会議事録集

第 1 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

開催日時： 平成 9 年 6 月 12 日（木） 16:00 - 18:30

開催地： 山口大学連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 原田悦守（学科長） 上原正人（代議員） 大槻公一（代議員） 籠田勝基

山口大学： 林俊春（学科長、代議員） 大西堂文（代議員） 猪熊壽、岩田祐之、大野耕一、鈴木達行、柴田浩、高橋進、田浦保穂、中間実徳、万場光一、森本将弘

宮崎大学： 伊藤勝昭（学科長） 新城敏晴（代議員） 牧村進（代議員） 村上隆之

鹿児島大学： 桜秀人（学科長、代議員） 西尾晃（代議員）

最初の委員会のため、協議事項などの項目は起こさず、委員長の私案に基づいて、自由な討論を行うことが了承された。以下の項目は、この自由な討論の中から、同意されたものである。

1. この委員会と、獣医国公立協議会会長名で設立が検討された委員会との整合性を次回の協議会で求めることにした。
2. 現状の獣医学科では、教育・研究面で問題が多々あることが議論された。これらの問題の解決のために、西の獣医学科 4 校が集まって、これらの問題の解決策を模索する必要性が同意され、この委員会を通じて、西日本の 4 大学の獣医学科の再編整備の可能性を検討していくことが了承された。
3. この委員会名は、西日本四大学再編整備検討委員会（略称、再編委員会）とすることが了承された。
4. この委員会で議論された項目は、各獣医学科に持ち帰り、検討して、次回の委員会にその結果を報告することが了承された。
5. この委員会は、当分の間、獣医学会開催時と連合獣医学研究科委員会開催時に、開催されることが了承された。
6. この委員会には、当分の間、でき得るかぎり、多数の教官の参加を求めることが了承された。ただし、学科長と代議委員は、事情の許すかぎり、出席することとなった。
- 7) 委員長が委員会の議事録案を作成して、各学科長に提出することが了承された。

- 8) 徳力研究科長がこの委員会の委員長を兼ねることが再確認された。
- 9) 次回の委員会は鹿児島で開催される獣医学会時に開かれることが決定された。

第2回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成9年10月11日

開催地： 鹿児島大学家畜病院2階会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 原田悦守（学科長） 大槻公一（代議員） 籠田勝基、島田章則

山口大学： 林俊春（学科長、代議員） 中間実徳、柴田浩、萬場光一、田浦保穂、岩田祐之、森本将弘、宇根智

宮崎大学： 伊藤勝昭（学科長） 新城敏晴（代議員） 牧村進（代議員） 村上隆之、村上昇、後藤義孝、池田正浩、中井雅晶

鹿児島大学： 桜秀人（学科長、代議員） 西尾晃（代議員） 濱名克己、阿久沢正夫、出口栄三郎、上村俊一、川崎安亮、三好宣彰、中馬猛久、宮本篤、

I 議事録の承認

- 1) 第1回議事録が原案通り承認された。

II 報告事項

- 1) 第1回再編委員会で検討された「獣医学科再編整備の進め方の基本方針（委員長私案）」に関して、この基本方針には、特に異論はなかったことが各獣医学科長より報告された。ただし、「再編整備を検討する」から「再編整備の可能性を検討する」と最初の議事録案を変更したことについて、若干の議論があった。

III 協議事項

- 1) 4大学の獣医学科による獣医学部創設の可能性の模索について、西日本の4獣医学科が合併して一つの獣医学部創設の可能性を模索することが同意された。また、獣医学部は九州大学に設置することを模索することが同意された。これらの同意事項は各獣医学科で検討することとなった。
- 2) 今後の再編の進め方について獣医学部案の作成に関して、東日本4大学獣医学科の獣医学教育検討懇談会が作成した「獣医学教育・研究に関する理想像」のような抽象的な概念の検討から始めるのか、具体的な獣医学部案を検討していくのかについて討議された。その結果、後者の方向で模索していくことで一致した。各獣医学科において、九州大学獣医学部の可能性を模索することに賛成が得られたなら、委員長が「九州大学獣医学部設置趣意書」のたたき台を作成し、それを再編委員会で検討し、かつ、各獣医学科で検討することが了承された。また、できるだけ早い機会に、文部省と九州大学に対して交

渉する必要のあることが了承された。

- 3) 農学部における各獣医学科を取り巻く状況と問題点に関して、各獣医学科から、それぞれ報告があり、獣医学科の再編整備については非常な困難を伴うことが報告された。

第2回西日本四大学再編整備検討委員会の補足

日時：平成9年10月20日

開催地：4大学SCS会議室

出席者：徳力幹彦（委員長）

鳥取大学：南三郎、島田章則、実方剛（教授会のため、教授出席せず）

山口大学：萬場光一（司会）、井上武、岩田祐之

宮崎大学：新城敏晴、牧村進、永友寛司、村上昇、山口良二、片山哲郎、中井雅晶、伊藤勝昭

鹿児島大学：清水孜、馬場威、西尾晃、濱名克己、坂本紘、阿久沢正夫、椋秀人、上村俊一、中馬猛久、川崎安亮、遠矢幸伸、宮本篤、三好宣彰、

委員長が第2回再編委員会の概略を説明後、説明に異議がないため、質疑応答に入った。

鳥取大学から、各大学の獣医学科の農学部における現状説明が、鳥取大学ほど詳細でないとの指摘があり、各獣医学科から、説明の補足があった。

山口大学：現農学部長は獣医の再編については賛成していないこと、学長は、大学の将来計画を作成するに当たり、獣医学科の去就がはっきりしないと描けないことなどの説明があった。

宮崎大学：現学部長が、獣医学科はいずれ農学部からでていくであろうと考えているのは個人的な見解であること、共同利用施設に獣医学科の教官を意識的に移動しているというのは間違いであり、獣医学科が積極的に出したことであり、獣医再編とこれらの人事を絡めるのは間違っているとの指摘があった。ただし、農学部の改組から獣医学科はずされているということは事実のようである。学部内の環境として、再編に向かっているという指摘がある一方で、学部からでていくのは不可能に近いという意見もあった。九州の畜産地帯は南九州に偏っており、北九州の存在する九州大学に獣医学部を作る場合、どのように考えればよいのかという問題指摘があった。

鹿児島大学：九大案は唐突に感じたという意見があり、現在も鹿児島大学の中に獣医学部を作るという案は生きているという指摘があった。獣医学6年制制定後、東大などは着々と学科を充実させていっているが、地方大学は変わっておらず、他の農学部の再編にも参加できないという状態では、獣医学科の再編整備以外に生きていく道はないという意見もあった。

鳥取大学： 受け入れる方はよいが、農学部をでていくのは、前回の再編整備のときの感じから、大変であるという認識を持つという意見があった。

今後の方針として、以前の再編整備では、九州大学に獣医学部を作るという案を作りながら、一回も九州大学に交渉にいった事実はないという指摘もあり、今後は、情報を集めながら、趣意書を作り、かつ、できるだけ早く、文部省と九州大学に交渉に行くべきであるという意見が多かった。

第3回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成9年12月18日(木) 10:30 - 12:00

場所： 山口大学連合獣医学科会議室

出席者： 徳力幹彦(委員長)

鳥取大学： 上原正人・大槻公一(代議員) 籠田勝基

山口大学： 林俊春(学科長) 大西堂文(代議員) 甲斐一成、万場光一、那須哲之、

宮崎大学： 伊藤勝昭(学科長) 牧村進・新城敏晴(代議員)

鹿児島大学： 坂本紘(学科長) 西尾晃・清水孜(代議員)

議題

I. 議事録の承認

第2回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が原案通り承認された。

II. 報告事項

1. 第2回再編委員会で検討された「協議事項」に関する各大学の検討結果について。

鳥取大学： 具体的なスケジュールが必要だが、九州大学獣医学部案を進めてよい。

山口大学： 獣医学科で承認。

宮崎大学： 九州大学案を進める方向で承認を得ている。

鹿児島大学： 九州大学案を基本的に了承するが、具体的に進めていくのを見守る。

以上より、九州大学獣医学部案を進めていくことが了承された。

2) 第17期日本学術会議の獣医学研究連絡委員会では獣医学科の再編整備問題を最重要課題として取り上げることになった。

III. 協議事項

1. 「九州大学獣医学部設置趣意書」について： 委員長私案の趣意書について検討し、委員長が各委員からの指摘事項を考慮して書き直し後、各獣医学科長に郵送して、各獣医学科で検討することとなった。

2. 再編に関する今後の進め方： 九州大学および文部省との当初の交渉は委員長に一任された。なお、この際、国公立獣医学協議会会長ないし全国獣医学関係大学代表者協議

会会長を同伴することが望ましいとの意見があった。

次回開催日時：平成10年2月12日(木) 18:00-19:00 連合獣医学会議室

次次回開催日時：平成10年4月5日(日) 午後5:30? 宇都宮

第4回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成10年2月12日(木) 18:00-19:40

場所：山口大学連合獣医学科会議室

出席者：徳力幹彦(委員長)

鳥取大学：上原正人、大槻公一、籠田勝基

山口大学：林俊春(学科長、代議員)、大西堂文(代議員)、牧田登之、中間實徳、柴田浩、高橋進、萬場光一、那須哲之、田浦保穂、木曾康郎

宮崎大学：伊藤勝昭(学科長)、牧村進(代議員)、新城敏晴(代議員)

鹿児島大学：坂本紘(学科長)、西尾晃(代議員)、清水孜(代議員)

議題

I. 議事録の承認

第3回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が原案通り承認された。

II. 報告事項

1. 第3回再編検討委員会で検討された「趣意書」に関する各大学の検討結果について。

鳥取大学：特に異論なし。

山口大学：特に異論なしという意見が多かったが、九州大学に獣医学部を創設したいという四大学の強い情熱を感じさせるような内容にするとともに、目的および構成の項目(特に獣医学部の構成)の検討が必要との意見もあった。

宮崎大学：特に意見なし。研究科長の動向に期待する。

鹿児島大学：特に異論なし。

2. 今後の進め方

非公式な打診なので研究科長一人が、まず文部省、次に九州大学と交渉してくることが了承された。

協議事項

III. 「九州大学獣医学部設置趣意書」における獣医学部の構成について

1. 九州大学は大学院大学を指向しているので、小講座制よりはる大講座制をとることになるだろうとの認識はあるが、その組織構成を考える手順として、講座の検討から始めるべきか、あるいは授業科目の検討から始めるべきか、に関して種々の意見の交換が行われた。授業科目の検討から始め、その授業科目に教官を張り付けていくべきだとの意見が多かつ

た。しかし、この問題は新獣医学部の基本理念と密接な関わりを持つために、今後、各獣医学科で十分検討することが了承された。

2. 山口大に西日本四大学再編整備検討委員会の小委員会を設けることが了承された。小委員会の委員は、木曾康郎（基礎）、林俊春（病態・予防）、猪熊壽（臨床）である。

次回開催日時：平成 10 年 4 月 5 日（日）17：30-19:00 第 125 回日本獣医学会会場

第 5 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成 10 年 4 月 5 日（日）17:40-19:10

場所：第 125 回日本獣医学会第 8 会場（宇都宮市）

出席者：

委員長：徳力幹彦

鳥取大学：上原正人（学科長）、原田悦守、籠田勝基、佐藤 宏

山口大学：高橋 進（学科長）、大西堂文（代議員）、田浦保穂（代議員）、中間實徳、林俊春、萬場光一、甲斐一成、木曾康郎、猪熊 壽

宮崎大学：永友寛司（学科長）、新城敏晴（代議員）、村上 昇

鹿児島大学：杉村崇明（学科長）、清水 孜（代議員）、坂本 紘（代議員）、西尾 晃、出口栄三郎、安田宣紘、遠矢幸伸、石黒 茂、宮本 篤、三好宣彰、中馬猛久（以上 28 名）

I. 議事録の承認

第 4 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が原案通り承認された。

II. 報告事項

1. 文部省専門教育課（課長・課長補佐）との交渉

平成 10 年 2 月 24 日に、委員長が文部省を訪ねて、これまでの本委員会議事録に沿って、西日本四大学再編整備委員会での以下の決定事項を説明した。すなわち、(1) 西日本の四獣医学科が集まってひとつの獣医学部を設立する、(2) この獣医学部を九州大学に設置する、(3) 獣医学部設置趣意書に沿って、文部省と九州大学との交渉を開始する。

文部省からは、獣医再編整備の必要性は充分認識しており、連合獣医学研究科は緊急避難的措置であることも認識しているとの説明があった。文部省は、再編整備運動を歓迎するが、あくまで、大学側が主導権をとって運動すべきであって、様々な方面への交渉は大学側で行う必要があり、文部省は側面での応援をすることになるとの認識を示した。

2. 本委員会に先立って開催された国公立協議会および獣医学関連協議会での報告および協議事項について説明がなされた。

3. 委員長から九大・杉岡総長に宛てた手紙の内容が披露され、4 月 8 日（水）に総長と連絡を取るようになっていたことが報告された。

III. 協議事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学：基準協会案は将来検討委員会で説明済みであるが、再編整備の話は公式には教官会議にも将来検討委員会にも出ていない。ただし、農学部長は九大案を含めて再編整備の動きを認識している。

山口大学：再編整備に関する情報は全て教官会議および将来検討委員会等で公式に報告されており、学長にも報告されている。

宮崎大学：昭和52年の教授会決定事項の「存置拡大」があり、それにより、獣医学科は定削から除外されていることもあり、全く動いていないし、動きがとれない。基準協会案は教授会で簡単に報告したが、再編整備に関する情報は教官会議および将来検討委員会を含む公式な会議では全く議題に上げたことがない。

鹿大：再編整備に関する情報は学部長に伝えているが、教授会および公式な会議で報告していない。

2. 新獣医学部の構成について

引き続き各大学で十分検討することが了承された。鳥大から出来る限り玉虫色にしておく方が得策との意見があった。委員長より、構成は最重要事項であるので活発な議論の末に決めたいとの意見があった。ただし、構成に関する問題は、九州大学との交渉によって九州大学の意向が明確になってから議論することとなった。

3. 東日本の4獣医学科との情報交換について

唐木私設委員会（東側2名、文部省1名、唐木先生の計4名で構成）からの西側への参加呼びかけに対して、もし文部省の参加が確定なら委員長が参加することで了承された。

IV. その他

1. 鹿大から、正式に「全国農学部長会議」の議題に再編整備を取り上げられるようにできないかとの指摘があった。

2. 鳥大から、少なくとも「再編整備に関する何らかの決議を学術会議第6部会で通して欲しい」との要望があった。

次回開催日時：平成10年6月12日 10:30-12:30（山口大学連合獣医会議室）

第6回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成10年6月12日（金）13:20-16:10

場所：山口大学連合獣医学科会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：上原正人（学科長） 大槻公一（代議員） 太田康彦（代議員） 原田悦守、籠田

勝基、佐藤 宏、島田章則、

山口大学：高橋 進（学科長） 大西堂文（代議員） 田浦保穂（代議員） 林 俊春、中間
實徳、那須哲之、鈴木達行、萬場光一、柴田 浩、山本芳美、木曾康郎、甲斐一成、猪熊
壽、森本将弘、和田直巳、宇根 智

宮崎大学：永友寛司（学科長） 新城敏晴（代議員） 堀井洋一郎（代議員）

鹿児島大学：杉村崇明（学科長） 清水 孜（代議員） 坂本 紘（代議員） 西尾 晃、出
口栄三郎、阿久沢正夫 （以上 33 名）

委員会の開催に先立ち、出席者全員の自己紹介が行われた。

議題

I. 議事録の承認

第 5 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が一部修正の上、承認された。

II. 報告事項

1. 九州大学総長との話し合い（平成 10 年 4 月 16 日）について

委員長が各大学獣医学科との話し合いの席上で報告しているため、詳細は割愛された。

2. 九州大学大学改革推進委員会における話し合い（平成 10 年 5 月 22 日）について

医学部案について説明した後、自由討論となり、以下の 18 項目に関して質疑応答がなされ
た。

1) 共通教育について

2) 畜産学との関連について

3) 東南アジア・東アジアの畜産業との連携について

4) 国際的に通用する（臨床に重点を置く）獣医学部について

5) 牧場について

6) 明治維新における大学の農学部モデルとなったドイツの獣医学部との関連について

7) 各地方のマスコミに対する対応について

8) 医学は地域医療に貢献しているが、獣医学の地域に対する対応について

9) 私立大学との関係について

10) 臨床の教官の集め方について

11) 獣医学科から獣医学部への移行期の人事について

12) 獣医学部設置を九大が公式表明する場合の地方大学に対する内政干渉について

13) 阿吽の呼吸で進行させていくことの必要性について

14) 単科大学案について

15) 教育と研究に関する九大の理念について

16) 北大の獣医学部は農学部に近いのか医学部に近いのかに関する問題について

17) 牧場における病的動物の取り扱いについて

18) 野生動物の保護を通じて環境保護の必要性を新獣医学部が提唱するとき、農学部における既存の環境関連研究室との関係について

3. 四獣医学科に対する委員長からの1年間にわたる再編整備運動経過報告について

山口(平成10年5月25日) 宮崎(同5月27日) 鹿児島(同5月28日) および鳥取(同5月29日)の各獣医学科の教官に対して、委員長がこれまでの再編整備運動の経緯を説明したことが報告された。

4. 文部省との第2回交渉(平成10年6月3日)について

前課長補佐との話し合いの結果の再確認と、各獣医学科から質問のあった、いくつかの事項に関して、文部省(石川課長補佐)と話し合った。

5. 獣医学教育問題勉強会(第1回-平成10年5月19日、第2回-6月3日)について

獣医学教育問題勉強会において再編整備に関して討議された事項が紹介された。

6. 各獣医学科の再編整備に関する現況について

鳥取大: 学部長に資料を手渡し、説明した。農学部将来検討委員会の正式な議題に上がることが決定した。これは教授会に正式議題として取り上げるための下準備である。

山口大: 生物資源科学科の再編整備が将来計画委員会で検討され始める。理学部生物学科と農学部との再編が第2回委員会で試案を持ち寄って検討することが決定した。

宮崎大: 九大案を進める方向で検討を開始した。学部長には、再編整備議事録に沿ってメモを作成し、設立概要および要望書を添えて文書で手渡した。

鹿児島大: 学部長に説明した。既成の獣医学部創設推進委員会を召集し、検討を開始する予定である。これは教授会に正式議題として取り上げるための下準備である。

III. 協議事項

1. 再編委員会の再構成と開催日時の変更について

再編委員会の構成メンバーは、従来通り、少なくとも学科長と代議員は必ず出席することとし、各獣医学科の教官にもできうる限り参加してもらうことになった。そこで、開催場所を各獣医学科持ち回りとすることを決め、今年度は、鹿児島大学(7月10日) 宮崎大学(9月30日) 鳥取大学(11月13日)で代議委員会を1回ずつ開催することとなった。また、開催日程はこれまでの2カ月に1回(研究科委員会開催時)のペースでは間に合わなくなるので、原則として毎月開催することが了承された。必要なら、さらにペースを早めることも了承された。なお、日本獣医学会時に開催することになっていた再編委員会は、第126回日本獣医学会(8月21-23日、酪農学園大学)に限り、開催を中止することとなった。

2. 新獣医学部の構成を含む諸問題の取り組み方について

いくつかの案が議論されたが、実行委員会を各獣医学科で発足させ、それぞれの実行委員会が、構成、授業課目などの試案を作成することが了承された。その際、いわゆる足かせを付けず、自由に案を作成し、情報交換を密にしながら、調整を取りつつ、完成させることでも了承された。これらの案を再編委員会で最終的にひとつの案にまとめていくことも了承された。

3. 九州大学と文部省との交渉の方法について

次回から、九州大学と文部省との交渉には必ず4獣医学科長が委員長に同行することが了承された。委員長から、少なくとも6月末までには委員長と4獣医学科長で九大に行きたいとの希望が出された。

4. その他

委員長から平成12年度概算要求を目標にしたいとの強い要望が披露された。

次回開催日時：平成10年7月10日、13:00-16:00 鹿児島大学

第7回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成10年7月10日（金）13:00-16:10

場所：鹿児島大学連合農学研究科会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：上原正人（学科長）、大槻公一（代議員）、太田康彦（代議員）

山口大学：高橋進（学科長）、大西堂文（代議員）、田浦保穂（代議員）、万場光一、

宮崎大学：永友寛司（学科長）、新城敏晴（代議員）、伊藤勝昭、村上昇、山口良二、

池田正浩、永延清和、中井雅晶、三澤尚明

鹿児島大学：杉村崇明（学科長）、清水孜（代議員）、坂本紘（代議員）、阿久沢正夫、

岡達三、出口栄三郎、石黒茂、安田宣紘、遠矢幸伸、岡本嘉六、宮本篤、中馬猛影、

藤木誠、川崎安亮、鈴木恵子、（以上32名）

議題

I. 議事録の承認

第6回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が原案通り、承認された。

II. 報告事項

1. 九州大学におけるその後の状況

九州大学において、獣医学部ができたときの共通教育のあり方に関する状況が報告された。

III. 協議事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学： 獣医学科の再編運動を農学部将来計画委員会に報告した。農学部から獣医学科が抜けるということを要求するのは非常に困難な状況にある。

山口大学： 農学部と理学部との話し合いが行われた。

宮崎大学： 教育学部と工学部に関する改革案検討の終了後に、農学部長と獣医問題についてプライベートに話し合うこととなっている。農学部の改革案が検討されつつあるが、農学部の検討委員会では、獣医問題の残務整理になってはいけないという認識がある。

鹿児島大学： 農学部の獣医学部創設推進委員会及び県畜産課に報告した。県は学部長に反対の意志表明をした。学部ではまだ取り上げていない。

2. 新獣医学部の構成について

鳥取大学案： 付置施設の規模、教育研究分野、大講座名の順に決めていく。

付置施設

家畜病院： 専任教官は必要ないとの意見もあったが、7名の任期制（3年間）助手をおくことにした。

実験動物センター： 助教授 1名

熱帯病研究センター： 助教授 3名、助手 3名

教育研究分野

教授 40名として、40の教育研究分野を決めようとしている。

カリキュラム

今後の検討課題。卒論をどのように位置づけるかが問題であるが、ドイツのような研究を軽視した教育は行わない。

山口大学案：

組織図と、具体的なカリキュラム案をコピーにより提示した。

宮崎大学：

組織図と構成（1専攻3大講座案と1専攻4大講座案）をコピーにより提示した。

鹿児島大学：

組織図と構成をコピーにより提示した。鹿児島大学案の特徴は、11講座と純増7講座を含む、南九州産業動物センター構想であり、獣医学部の約1/4の教官をここに当てるというものである。この案に対して、種々の議論があった。

これらの案からひとつの案にまとめていく方法として、組織に関しては宮崎大学案を、カリキュラムに関しては山口案をたたき台にして、各獣医学科の小委員会で検討すること、この検討過程で各獣医学科が email などを用いて連絡を取り合うこと、案が作成されたら臨時の再編委員会を福岡あたりで開催することなどが了承された。

次回開催日時：平成10年9月30日、13:00-15:30 宮崎大学農学部

第 8 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成 10 年 9 月 30 日（水）13:00-17:10

場所：宮崎大学農学部会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：上原正人（学科長）大槻公一（代議員）太田康彦（代議員）島田章則

山口大学：高橋進（学科長）大西堂文（代議員）田浦保穂（代議員）万場光一、林俊春

宮崎大学：永友寛司（学科長）新城敏晴（代議員）堀井洋一郎（代議員）伊藤勝昭、萩尾光美、村上隆之、村上昇、池田正浩、後藤義孝、末吉益雄、那須哲夫、山口良二、内田和幸、中井雅晶、永延清和、三澤尚明、

鹿児島大学：杉村崇明（学科長）清水孜（代議員）西尾晃、大石明広、遠矢幸伸、川崎安亮、

（以上 32 名）

議題

I. 議事録の承認

第 7 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が一部修正され、承認された。

II. 報告事項

1. 東の 4 獣医学科との情報交換について

8 月 19 日に開催された情報交換会は記録を取らないことになっていたため、記憶に基づき、報告された。

2. 代議員との会見について

8 月 28 日に、日本獣医師会の杉山会長、松山専務理事、竹内学術担当理事、朝日事務局長、および唐木全国獣医学関係大学代表者協議会会長と徳力委員長の計 6 名が山中貞則代議員と会見した際の報告、9 月 4 日に杉山会長、朝日事務局長、唐木会長、徳力委員長の 4 名が江藤隆美代議員に会見した際の報告があった。

3. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学：新獣医学部の組織とカリキュラムの案を作成した。将来計画委員会に獣医学科再編の検討を依頼している。国公立大学獣医学協議会会長の文書が農学部長に配布された後に、農学部長に説明を行う。

山口大学：再編委員会の 1 年間にわたる経過が教官会議で報告された。前回の教官会議で獣医学科の再編が正式議題となり、議論された。

宮崎大学：すでに再編案を学部長に報告してある。10 月中に学長に報告する予定である。

鹿児島大学：すでに学長に再編案を説明してある。10 月中に農学部教授会に説明する予定

である。産業動物臨床教育センター（仮称）の規模について議論を重ねてきた。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の構成とカリキュラム

1) 産業動物臨床教育センター（仮称）の規模は、9名として、他は純増を目指すことにした。なお、このセンターに配置される教官は、張り付けではなく、福岡の獣医学部に定期的に移動していくことが了承された。また、センターの教官が大学院院生の研究指導資格を獲得できるように配慮することが了承された。

2) 新獣医学部は、獣医形態機能学大講座、予防環境獣医学大講座（ないし、獣医生体防御学大講座）、臨床獣医学大講座の、3大講座制を採用することを決定した。なお、これらの大講座名は仮称である。

3) 宮崎大学案に含まれる「アジア総合共同動物研究センター（仮称）」の様な構想は必要であるということで意見が一致した。

4) 付属動物病院（仮称）について設置場所、隔離問題、大動物の施設などが議論されたが、結論はでなかった。また、付属牧場についても設置可能か否かを議論した。

5) 次回の再編委員会（10月15日に山口大学で開催）で、構成とカリキュラムを決定することが了承された。

2. 今後の展望について

時間がなくなったために検討されなかった。

次回開催日時：平成10年10月15日、16:30-20:00 山口大学農学部

第9回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成10年10月15日（木）14:10-21:00

場所：山口大学農学部会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：上原正人（学科長）、大槻公一（代議員）、太田康彦（代議員）、島田章則（委員長）、籠田章則、原田悦守

山口大学：高橋進（学科長）、大西堂文（代議員）、田浦保穂（代議員）、林俊春（委員長）、牧田登之、井上武、柴田浩、谷口仁、万場光一、甲斐一成、利部聡、山本芳実、木曾康郎、和田直己、中市統三、白水完治、森本将弘、宇根智、

宮崎大学：永友寛司（学科長）、新城敏晴（代議員）、堀井洋一郎（代議員）、村上昇（委員長）、伊藤勝昭、萩尾光美、池田正浩、内田和幸、永延清和、

鹿児島大学：清水孜（代議員）、坂本紘（代議員）、大石明広（委員長）、川崎安亮、

（以上37名）

議題

I. 議事録の承認

第8回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が原案通り、承認された。

II. 報告事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学： 将来検討委員会に再編問題を提案した。学長に説明する予定である。組織案とカリキュラムを時間をかけて検討した。

山口大学： 県の畜産課に説明した。県獣医師会に説明した。

宮崎大学： 10月21日に学長に報告する予定である。

鹿児島大学： 県の畜産課に説明した。

2. その他

1) 10月12日に、福岡で連合獣医学研究科運営協議会を開催した際、4大学農学部長に対して、資料に基づき再編を説明した。各農学部長からそれぞれの学部における現状説明があった。

2) 10月14日付け朝日新聞の獣医学科再編統合に関する記事について説明があった。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の構成とカリキュラム

1) 各獣医学科の小委員会委員長から、それぞれの構成・カリキュラム案作成の基本理念と特徴について説明があった。

2) 次に、新獣医学部の構成を決定していく手順について、以下のような種々の議論があった。

新獣医学部の理念を再検討してから、これに基づいて決めていくべきである。これまでの案では、国民にもっとも訴える力の強い公衆衛生が軽視されているので、趣意書は合意されているのであるから、ここまで戻る必要はない。趣意書に臨床は50%以上とするとあるので、これを厳守すべきである。山口案は授業単位を基準にして大講座に教官を振り分けたが、他大学とそれほど差はない。産業動物臨床教育センターは文部省だけではなく、他の省の援助も必要ではないかなどなど。

以上の議論を踏まえて、今回は、センター構想は棚上げして、三大講座に教官数をどのように割り振るかを決定することにした。長時間の議論の後、センターに張り付けていた教官を大講座に戻すこと、および同一授業科目が獣医学科によって異なる大講座に分類されていることなどを考慮すると、各獣医学科の案にそれほど差がないことが判明し、山口大学案と宮崎大学案はまったく同じであることが分かった。そこで、組織・カリキュラム案の骨子は山口大学案ないし宮崎大学案とすること、以後の詳細な案はワーキング・グ

ループ（各小委員会委員長で構成）に一任すること、このとき、大講座間の数名程度の教官移動は認めることを決定した。

3) 中国・四国に産業動物臨床教育センターのサブセンターの設立を目指す案が提案された。

4) 宮崎大学案は当初から大学院大学としての設立を目指しているが、建物・施設の単価が学部とは異なり有利なので、この案を採用することとした。

5) 実験動物センターの教官は、純増要求よりも、一人教官を張り付けて要求する方が現実的ではないかという提案があった。

2. 今後の展望について

時間がなくなったために検討されなかった。

次回開催日時：平成10年11月13日（金）13:00-17:00 鳥取大学農連大大会議室

第10回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成10年11月13日（金）13:00-16:40

場所：鳥取大学農連大大会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：大槻公一（代議員）、太田康彦（代議員）、島田章則（委員長）、原田悦守、籠田勝基、関根純二郎、佐藤宏、南三郎、日笠喜朗、伊藤壽啓、菱沼貢、岡本芳晴、森田剛仁、大浦良三、竹内崇、佐藤耕太

山口大学：高橋進（学科長）、大西堂文（代議員）、田浦保穂（代議員）、林俊春（委員長）、万場光一、木曾康郎、

宮崎大学：永友寛司（学科長）、新城敏晴（代議員）、堀井洋一郎（代議員）、村上昇（委員長）、立山晋、萩尾光美、那須哲夫

鹿児島大学：清水孜（代議員）、坂本紘（代議員）、大石明広（委員長）、川崎安亮、

（以上34名）

議題

I. 議事録の承認

第9回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が一部修正されて、承認された。

II. 報告事項

1. 連獣研究科構成大学間学長会議について

11月12日午後17-18時にかけて、構成大学間学長会議を開き、研究科の現状説明の後、再編について説明した。各学長からは厳しい意見がでた。その後、18-20時にかけて懇親会を行ったが、ここでも厳しい意見がでた。

2. 再編に関する問題点について

文部省専門教育課との話し合いで、再編に関するいくつかの問題点を整理した。

3. 各獣医学科の再編運動の現況について

鳥取大学： 将来計画委員会に議題として提出してある。

山口大学： 獣医学科がでた後の農学部の将来について、他学部との話し合いが始まっている。

宮崎大学： 学長に説明した。農学部の全教官にも説明した。

鹿児島大学： 学科長会議で説明した。将来構想委員会で取り上げることになった。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の構成とカリキュラム

案をまとめることは、ワーキング・グループに一任することを決定した。

2. 今後の展望について

平成 12 年度概算の締め切りは、各大学によって異なるものの、年内に頭出しをして、来年の 3 月までに概算を提出しなければならないところが多い。しかし、まだ、教授会の議題に上っていない大学もあるために、平成 12 年度概算は無理という大学がでてきた。このような大学もできる限り平成 12 年度概算を目指して努力すること、たとえ、平成 13 年度概算を目指すことになっても、九大との交渉期間を考慮すると、できる限り早い時期に、各大学でマイナス概算を提出できる保証を取り付けるように努力することで一致した。

3. その他

1) この委員会終了後、この委員会に参加している教官全員と、鳥取大学農学部教官との話し合いの場をもつことが提案され、了承されたので、15:30-16:40 まで、農学部有志教官と懇談会をもった。

2) 次回から、再編委員会は、能率を考慮して、各大学間の回り持ちは棚上げすること、代議委員会の際に開催すること、および再編委員のみが参加することが了承された。また、来年の 4 月 1 日からは、再編委員会は各大学からの新委員 2 人で構成すること、それまでは、従来通り、学科長と代議員で構成することが提案され、了承された。

次回開催日時：平成 10 年 12 月 18 日（金） 13:00-15:30 連合獣医学研究科会議室

第 11 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成 10 年 12 月 18 日（金）13:00-15:00

場所：山口大学連合獣医学研究科会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学： 上原正人（学科長）、太田康彦（代議員）

山口大学： 高橋 進（学科長）、大西堂文（代議員）、林俊春（委員長）、万場光一、岩田

祐之、木曾康郎

宮崎大学： 新城敏晴（代議員） 堀井洋一郎（代議員）

鹿児島大学： 清水 孜（代議員） 坂本 紘（代議員）（以上 13 名）

議題

I. 議事録の承認

第 10 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が一部修正されて、承認された。

II. 報告事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学： 将来計画委員会で討議している。県の畜産課と県獣医師会に説明に行った。

山口大学： 他の 3 獣医学科がマイナス概算の保証をとれば、九州大学との折衝が可能となった。

宮崎大学： 審議委員会でとりあげられた。平成 12 年度の獣医学科の問題を審議中である。

鹿児島大学： 農学部将来構想委員会で検討されることになり、ここに専門部会が作られる予定である。しかし、急ぐために獣医学部創設推進委員会で検討する予定である。

2. その他

1) 獣医師会は文部省高等教育局長に対して、再編に対する要望書を提出してくれた。

2) 停年間近の教員を残していく場合、空き定員を利用すべきというのが文部省の考えであった。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の構成とカリキュラムワーキング・グループの権限が問題になり、カリキュラムしか権限を与えていないという考えをもつ大学があった。構成とカリキュラムについては、次回の再編委員会で議論することになった。また、新たに構成する再編委員会については、九州大学との交渉が具体化するまで、代議員 2 名が兼担すること、事情によっては学科長が参加することという案が出された。

2. 今後の展望について

時間が足りなかったので、検討しなかった。

次回開催日時：平成 11 年 1 月 22 日（金） 13:00-15:30 連合獣医学研究科会議室

第 12 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成 11 年 1 月 22 日（金） 13:00-15:40

場所：山口大学連合獣医学研究科会議室

出席者：委員長 徳力幹彦

鳥取大学： 上原正人（学科長） 大槻公一（代議員） 太田康彦（代議員）

山口大学： 大西堂文（代議員） 田浦保穂（代議員） 林 俊春（委員長） 万場光一、岩田祐之、

宮崎大学： 新城敏晴（代議員） 堀井洋一郎（代議員）

鹿児島大学： 杉村崇明（学科長） 清水 孜（代議員） 坂本 紘（代議員）

（以上 14 名）

議題

I. 議事録の承認

第 11 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録が一部修正されて、承認された。

II. 報告事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学： 学長と学部長の選挙が近いので、運動は停止している。

山口大学： 組織・カリキュラム案が大筋で了承された。

宮崎大学： 農学部再編案と獣医学科のマイナス概算が 2 月の教授会で審議される。学科長と同窓会有志が私的に県庁に説明にいった。

鹿児島大学： 組織・カリキュラム案は現時点での案として了承された。再編、問題は学部長選挙のため進んでいない。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の構成とカリキュラム

1) 大講座名は原案通り了承された。

2) 付属産業動物臨床教育センターのサブセンターを中・四国に作ることが同意された。人員は純増 3 名とする。

3) 付属産業動物臨床教育センターの組織は、再度、宮崎大学と鹿児島大学で協議し、林委員長に報告することとなった。なお、教官数は、専任教授 5 名、専任助教授 4 名、純増 9 名を目安として、他に併任を考慮することとなった。

4) アジア・アフリカ・中近東総合動物研究センターは、併任教官数を 10 名前後とすることになった。なお、このセンターには感染実験動物飼育施設と実験動物飼育施設を併設することとなった。

5) 付属牧場（実験牧場）案は廃止することとなった。

6) 動物臨床教育病院に、pet loss などの飼い主に対処する部門などを考慮することにした。また、技官の問題、卒後教育問題、飼い主教育問題などは今後の検討課題とした。

2. 今後の展望について

鳥取大学： 学長と学部長の選挙が終了してから、運動を再開したい。

山口大学： 農学部の再編が進むことを期待している。

宮崎大学：現在の運動を持続していく。

鹿児島大学：獣医学部創設委員会を通じて理解を求めていきたい。

次回開催日時：平成11年2月18日（木）18:00-19:00 連合獣医学研究科会議室

第13回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成11年2月18日（金）17:00-19:30

場所：山口大学連合獣医学研究科会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：大槻公一（代議員）、太田康彦（代議員）、島田章則（ワーキング委員長）籠田勝基、原田悦守、関根純二郎、南三郎

山口大学：高橋進（学科長）、大西堂文（代議員）、田浦保穂（代議員）、林俊春（ワーキング委員長）、万場光一

宮崎大学：新城敏晴（代議員）、堀井洋一郎（代議員）

鹿児島大学：清水孜（代議員）、坂本紘（代議員）、出口栄三郎（ワーキング委員長）

（以上18名）

議題

I. 議事録の承認

第11回西日本四大学再編整備検討委員会議事録は、付属産業動物臨床教育センターとアジア・アフリカ・中近東総合動物研究センターに仮称を付けること、および一部字句が修正されて、承認された。ただし、実験牧場を廃止したことに関して、将来大きな分野をしめると考えられる行動学の研究の場として、実験牧場は必要であるという意見、大学の近くに大動物を飼育することの重要性が指摘された。

II. 報告事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学：今後、再編運動を積極的に推進していきたい。

山口大学：別になし。

宮崎大学：教授会で前向きに検討している。

鹿児島大学：農学部将来構想委員会が設置される予定である。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の構成とカリキュラムの案の検討

産業動物臨床教育センター（仮称）については、その理念（教育・研究の立場から）、および農水省の試験場や県の家畜保健所との関係などの検討が指摘された。しかし、地域貢献を最大の眼目におくことで一致した。

2. 産業動物臨床教育センター（仮称）に配置する教授5名（臨床分野）と助教授4名（環境分野）の、教授と助教授の割り振りは再検討することとし、具体的な案はワーキンググループに一任した。

3. 将来、大きな分野になる野生動物関係のカリキュラムが足りないとの指摘があった。

4. AHT を含む、技官の問題を早急に議論すべきとの意見がでたが、この問題は今後時間をかけて検討していくことで一致した。

5. 今後、議論すべき問題が多々残っているという指摘を文章に入れて、趣意書の間まとめを早急に作る事が了承され、趣意書の前半はすでにまとめられている文章を利用し（ただし、書き直しが必要な部分があるのでそれを委員長が書き直す）、後半の構成とカリキュラムの詳細はワーキンググループに一任された。

2. 今後の展望について

時間が足りなく、検討されなかった。

次回開催日時：平成11年3月18日（木）16:00-:1800 連合獣医学研究科会議室

第14回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成11年3月18日（木）16:00-18:00

場所：山口大学連合獣医学研究科会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：大槻公一（代議員）、太田康彦（代議員）

山口大学：高橋進（学科長）、大西堂文（代議員）、田浦保穂（代議員）、林俊春、（ワーキング委員長）、万場光一、甲斐一成

宮崎大学：新城敏晴（代議員）、堀井洋一郎（代議員）

鹿児島大学：清水 孜（代議員）、坂本 紘（代議員）、出口栄三郎（ワーキング委員長）

（以上14名）

議題

I. 議事録の承認

第12回西日本四大学再編整備検討委員会議事録は一部を修正して、承認された。

II. 報告事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学：農学部内では厳しい状況にある。

山口大学：別になし。

宮崎大学：別になし。

鹿児島大学：農学部獣医学部創設推進委員会を開催した。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の趣意書案の検討

九州大学に獣医学部を設置するための趣意書（前文、組織、カリキュラム）の最初の案の最終検討を行い、一部を修正した。なお、各獣医学科における検討後、5月の再編委員会で最終決定することが了承された。

次回開催日時：平成11年4月7日（水） 17:00-19:00 連合獣医学研究科会議室

第15回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成11年5月14日（金）10:00-12:00

場所：山口大学連合獣医学研究科会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学：太田康彦（代議員） 島田章則（代議員、ワーキング委員長）

山口大学：田浦保穂（代議員） 林 俊春（ワーキング委員長） 万場光一、

宮崎大学：堀井洋一郎（代議員） 永友寛司（代議員）

鹿児島大学：坂本 紘（代議員） 岡 達三（代議員、） 出口栄三郎（ワーキング委員長）

（以上11名）

議題

I. 議事録の承認

第14回西日本四大学再編整備検討委員会議事録は一部を修正して、承認された。

II. 報告事項

1. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学：農学部将来計画委員会で再編整備の現状を説明した。

山口大学：別になし。

宮崎大学：別になし。

鹿児島大学：農学部将来構想委員会を開催した。ここで、再編整備を討議していく。

III. 協議事項

1. 新獣医学部の趣意書案の検討

九州大学に獣医学部を設置するための趣意書（前文、組織、カリキュラム）の案の各獣医学科における検討について各大学の獣医学科における議論に基づき、趣意書案の内容について、種々の指摘、要望、変更、加筆などが文書などで示されたが、内容の修正は委員長に一任された。

2. 今後の展望

時間が無く、十分に討議できなかった。

次回開催日時：平成 11 年 6 月 10 日（水） 16:00-:1800 連合獣医学研究科会議室

第 16 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時：平成 11 年 6 月 10 日（木）16:00-18:00

場所：山口大学連合獣医学研究科会議室

出席者：委員長 徳力幹彦

鳥取大学： 太田康彦（代議員） 島田章則（代議員、ワーキング委員長）

山口大学： 大西堂文（代議員） 田浦保穂（代議員） 林 俊春（ワーキング委員長）

甲斐一成（学科長） 万場光一、

宮崎大学： 堀井洋一郎（代議員、ワーキング委員長） 永友寛司（代議員）

鹿児島大学：坂本 紘（代議員） 岡 達三（代議員） （以上 12 名）

議題

I. 議事録の承認

第 15 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録は原案通り承認された。

II. 報告事項

1. 科研費、「獣医学教育の抜本的改善の方向と方法に関する研究」の報告書作成作業と、九大趣意書作成作業を重ね合わせるについて報告された。

2. 新城先生から指摘された、農学部長会議における雰囲気について話し合った。

3. 各獣医学科の農学部における諸問題について

鳥取大学： 農学部に小委員会が作られ、農学部の長期にわたる問題を討議することになった。

山口大学： 別になし。

宮崎大学： 外部への説明のための資料を作る。

鹿児島大学：農学部将来構想委員会に、獣医問題を論ずる専門部会を作る。南日本新聞と大学新聞に再編に関する記事がでた。

III. 協議事項

1. 組織とカリキュラムの案の検討

趣意書の前半は時間をかけて再検討することが了承された。現行のカリキュラム案は、中間的なものであり、今後、変更される可能性のあることが確認された。

2. 今後の展望

諸般の事情に関する議論を積み重ねて、再編は、時間との勝負であることが確認された。

次回開催日時：平成 11 年 8 月 27 日（水） 10:00-:1200 連合獣医学研究科会議室

第 17 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 11 年 10 月 14 日 (木) 15:50-17:00

場所： ホテルサンルート熊本会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学： 太田康彦(代議員)、島田章則(代議員、ワーキング委員長)、原田悦守

山口大学： 大西堂文(代議員)、田浦保穂(代議員)、甲斐一成、林 俊春、万場光一

宮崎大学： 堀井洋一郎(代議員、ワーキング委員長)、永友寛司(代議員)

鹿児島大学： 坂本 紘(代議員)、岡 達三(代議員)

議題

I 議事録の承認

第 16 回西日本再編整備検討委員会議事録は原案通り承認された。

II 報告事項

1. 各獣医学科の諸問題について(鳥取大学と鹿児島大学の今後の日程を含む)

鳥取大学： 小委員会ならびに将来計画委員会で種々検討したが、結論は出なかった。

山口大学： なし

宮崎大学： なし

鹿児島大学： 月に 3 回くらいずつ話し合いの会をもった。学部案、連携案、九大案のデメリットが検討された。10 月 25 日の専門部会で最終案を決めて、将来検討委員会に提案する。

III 協議事項

1. 今後の展望について

10 月 12 日の国公立大学獣医学協議会の決議「獣医学科の再編は平成 13 年度概算を目指す」の決議を受け、今年度中に九大と交渉をはじめめることを決定した。鳥取大学は交渉権をとらずに参加。鹿児島大学の審議を待って、12 月から交渉できるように、委員長が九大総長と交渉することを決定した。この際、九大側にはこちらの事情をすべて説明することにした。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 11 年 10 月 21 日(木)代議委員会終了後(夕食用意)

場所： 山口大学大学院連合獣医学棟会議室

第 18 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 11 年 10 月 21 日 (木) 14:00-18:30

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学： 太田康彦（代議員） 島田章則（代議員） 籠田勝基

山口大学： 大西堂文（代議員） 田浦保穂（代議員） 甲斐一成、万場光一

宮崎大学： 堀井洋一郎（代議員、ワーキング委員長） 永友寛司（代議員）

鹿児島大学： 坂本 紘（代議員） 岡 達三（代議員）

議題

I 議事録の承認

第 17 回西日本再編整備検討委員会議事録は一部修正され承認された。

II 報告事項

1. 各獣医学科の諸問題について

前回（10月14日開催）と間がないために、各大学とも新しい説明事項はなかった。

2. その他

1) 連合獣医医学研究科の構成大学間運営協議会が 11 月 8 日に福岡で開催され、ここで再編問題が話しあわれるとの説明が委員長よりあった。

2) 松本事務長より、他大学の事務にも再編を説明すべきとの指摘があった。

III 協議事項

1. 今後の展望について

平成 13 年度概算に向けて活発な議論が展開された。西日本獣医学科の再編の基本線は「四大学がまとまって獣医学部を九大に作る」ということであり、四大学でこの基本線は守り続けることが再確認された。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 11 年 11 月 12（金）代議委員会終了後より午後 4 時まで

場所： 福岡ガーデンパレス

第 19 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 11 年 11 月 12 日（金）15:00-16:10

場所： 福岡ガーデンパレス

出席者：委員長：徳力幹彦

鳥取大学： 太田康彦（代議員）

山口大学： 大西堂文（代議員） 田浦保穂（代議員） 林 俊春（ワーキング委員長）
万場光一

宮崎大学： 堀井洋一郎（代議員、ワーキング委員長）、永友寛司（代議員）

鹿児島大学： 坂本 紘（代議員）

議題

I 議事録の承認

第 18 回西日本再編整備検討委員会議事録は一部修正して、後日配付することで了承された。承認された。

II 報告事項

国立大学農学関係学部長会議の報告（10月28日(木)、松江）ならびに連合獣医学研究科運営協議会（四大学農学部長が出席）における再編整備運動の説明について、活発に質疑を行った。

III 協議事項

鳥取大学獣医学科と鹿児島大学獣医学科は、11月中、九州大との交渉の承諾を農学部に働きかけるが、承諾が得られなくとも、両校の獣医学科は12月からの九州大との交渉に参加することになった。これは、現在それぞれの獣医学科で検討中の問題の選択肢のひとつとして、九州大学獣医学部の実現性を模索するという理由からである。

山口大学は宮崎大学と同様の条件で、学部の理解を得ることを目指すことになった。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 11 年 12 月 17 日（金）代議委員会終了後

場所： 連合獣医学研究科会議室

第 20 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 11 年 12 月 17 日（金）15:10-15:55

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 太田康彦（代議委員）、島田章則（代議委員）

山口大学： 大西堂文（代議委員）、田浦保穂（代議委員）、万場光一

宮崎大学： 堀井洋一郎（代議委員、ワーキング委員長）、永友寛司（代議委員）

鹿児島大学： 坂本 紘（代議委員）、岡 達三（代議委員）

議題

I 議事録の承認

第 19 回西日本再編整備検討委員会議事録は原案通り承認された。なお、修正した第 18 回西日本再編整備検討委員会議事録は電子メールで送付されており、異議がなかったので、

そのまま承認された。

II 報告事項

1. 各獣医学科の諸問題について

鳥取大学： 全学的な活動； フォーラムをこれまで 4 回開催した。学部内の活動； 九大との交渉は独自に進めればよいとされて、農学部全体の理解は得られていない。学科内の活動； これまでの再編運動の勉強会を開いた。サブセンター案の具体化のためにワーキンググループを作った(南委員長)。地元の理解を得るため。同窓会への説明； 島田先生が同窓会誌に投稿した。

山口大学： 教官会議で条件をつけずに、九大との交渉が承諾された。全学の獣医学生を集めて、委員長が再編の経過説明をした。学生が再編賛成の署名を集めて、農学部長と学長に提出した。

宮崎大学： 地元説明用の資料を完成させた。ホームページに再編の経過を掲載した。

鹿児島大学： 将来構想委員会で引き続き検討。学科内再編委員会で学科内の意見はひとつとの確認をとった。

2. その他

委員長が文部省専門教育課の中島節夫課長補佐にブリーフィングに行ったときの意見交換の説明があった。

III 協議事項

1. 今後の展望について

九大との交渉に関して議論した結果、最初は委員長一人で交渉に行くことになった。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 12 年 1 月 20 日（木）代議委員会終了後

場所： 連合獣医学研究科会議室

第 21 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 2 月 1 日（火）13:30-15:30

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 太田康彦（代議委員）、島田章則（代議委員）

山口大学： 大西堂文（代議委員）、甲斐一成（学科長）、林俊春（ワーキング委員長）、万場

光一

宮崎大学： 堀井洋一郎（代議委員、ワーキング委員長）、永友寛司（代議委員）

鹿児島大学： 岡 達三（代議委員）

議題

I 議事録の承認

第 20 回西日本再編整備検討委員会議事録は原案通り承認された。

II 報告事項

1. 九大総長との交渉について

1月20日16:00-17:10、九大杉岡総長と柴田副学長との話し合いにおいて、これまで、3年弱にわたる再編の動きを総括した。そして、我々の運動の結果、2 獣医学科は九大獣医学部案を検討することに関して農学部から承諾を得られているが、他の 2 獣医学科はそれができないことを説明し、このような条件で九大獣医学部案作りをしたいと説明した。九大側から、共通教育の先生の数の問題について質問があり、また、九大はすでに大学院重点化が終了しているので、最初から研究科を作る形になるため、連獣をそのまま九大大学院に入れることは不可能ということであった。後日返事をもらうことになった。

1月26日九大総長より、すでに農学部から交渉に関して承諾を得られている 2 獣医学科と獣医学部案を検討してもよいとの電話があった。

2. 文部省への報告について

2月2日に、これまでの結果を文部省に報告に行くとの説明が委員長よりあった。

III 協議事項

1. 今後の九大との交渉について

種々、議論が戦わされたが、九大が 13 年度概算をいつまで待つことができるかを聞き、それを最終目標に鳥取大学と鹿児島大学の獣医学科が農学部から交渉に理解を得られるよう努力することになった。九大には委員長が各学科長とともに、できるだけ早い時期に行くことになった。

また、委員長ができるだけ早い時期に各農学部長に説明に行くことになった。

2. 文部省への説明について

協議した結果、委員長とともに各学科長が行くことになった。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 12 年 2 月 17 日（木）代議委員会終了後

場所： 連合獣医学研究科会議室

第 22 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 2 月 17 日 (木) 18:30-20:30

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦 (委員長)

鳥取大学： 太田康彦(代議委員) 島田章則(代議委員) 関根純二郎(学科長)

山口大学： 大西堂文(代議委員) 田浦保穂(代議委員) 甲斐一成(学科長) 林俊春(ワーキング委員長) 万場光一

宮崎大学： 堀井洋一郎(代議委員、ワーキング委員長) 永友寛司(代議委員) 新城敏晴(学科長) 立山 晋

鹿児島大学： 坂本 紘(代議委員) 岡 達三(代議委員)

議題

I 議事録の承認

第 21 回西日本再編整備検討委員会議事録(平成 12 年 2 月 1 日) は原案通り承認された。

II 報告事項

1. 文部省への説明について

2 月 2 日 14:00-16:00、4 獣医学科長および 1 次期獣医学科長とともに文部省に行き、岩本課長、中島課長補佐、堀井係長の 3 人に、これまでの 3 年弱にわたる再編運動の総括、特に九大杉岡総長と柴田副学長との話し合いの結果を説明した。

2. 九大との交渉について

2 月 7 日 15:30-16:30 における、4 獣医学科長ならびに 1 次期獣医学科長とともに、九大杉岡総長および矢田副学長と話し合い、2 月 1 日に開催された第 21 回再編委員会の結果を踏まえて、4 獣医学科で獣医学部案を作成できる可能性について話し合った。九大側から、今まで通り九大側はあくまで受け身であること、および総長が呼びかけて作る私的研究会において、今後の具体的な案を模索することが提案され、私的研究会を作ることが決まった。なお、2 月 16 日の矢田副学長との電話から、4 獣医学科側の委員の人選はこちらに任されたことが報告された。また、交渉について農学部から正式の理解を得られていない学科はオブザーバーなどのかたちで参加することなどを考慮することにした。

III 協議事項

1. 今後の展望について

九大にできる私的研究会について種々議論され、各学科 5 人程度が参加すること、再編委員長から学部長に依頼書が必要な学科には依頼書を送ること、および農学部から交渉に関する理解の得られていない学科はオブザーバーとして参加することなどが議論された。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 12 年 3 月 16 日（木）代議委員会終了後

場所： 連合獣医学研究科会議室

第 23 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 3 月 16 日（木）15:00-18:00

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 太田康彦（代議委員）、島田章則（代議委員）、関根純二郎（学科長）、大槻公一、今川智敬、伊藤壽啓

山口大学： 大西堂文（代議委員）、甲斐一成（学科長）、林俊春（ワーキング委員長）、万場光一

宮崎大学： 堀井洋一郎（代議委員、ワーキング委員長）、永友寛司（代議委員）

鹿児島大学： 坂本 紘（代議委員）、岡 達三（代議委員）

議題

I 議事録の承認

第 22 回西日本再編整備検討委員会議事録（平成 12 年 2 月 1 日）は一部修正して承認された。

II 報告事項

委員長から、前回の再編委員会（2 月 17 日）以降の再編に関する経過が報告された。すなわち、2 月 28 日の鳥取大学における農学部長と農学部評議員との会見、3 月 7 日の九大総長との電話、3 月 8 日の鹿児島大学農学部長との会見、3 月 10 日の文部省と委員長・各学科長との話し合いなどである。次いで、各大学の現状報告が会った。

鳥取大学： 学科長が教授会において、私的研究会参加を説明した。

山口大学： 2 月 9 日の教官会議で、九大で開催される再編に関する私的研究会への参加が認められていること、委員長が個人的に学長に報告してあることなどが報告された。

宮崎大学： 学部長が委員長の私的研究会参加の依頼書をもって、学長に報告したとのことであった。

鹿児島大学： 農学部長が教授会で私的研究会について報告したとのことであった。

III 協議事項

1. 今後の展望について

九大にできる私的研究会について種々議論されたが、具体的にどのようなかたちで進めていくかについては結論が出なかった。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 12 年 4 月 7 日（金）代議委員会終了後

場所： 連合獣医学研究科会議室

第 24 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 4 月 7 日（木）15:00-18:00

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 島田章則（代議委員）

山口大学： 大西堂文（代議委員）、甲斐一成（代議委員）、万場光一

宮崎大学： 永友寛司（代議委員）、伊藤勝昭（代議委員）

鹿児島大学： 岡 達三（代議委員）、出口栄三郎（代議委員）

議題

I 議事録の承認

第 23 回西日本再編整備検討委員会議事録（平成 12 年 3 月 16 日）は一部修正して承認された。

II 報告事項

鳥取大学： 3 月 17 日の将来計画委員会および 3 月 22 日の教授会で九大で開催される私的研究会参加を報告した。

山口大学： 3 月 15 日の教官会議にこれまでの議事録を配付した。

宮崎大学： なし。

鹿児島大学： 3 月 22 日に将来構想委員会で四つの選択肢をつめる。動物系だけでなく、植物系も含めた案を検討中である。

委員長から、東の 4 大学の代表との会談、文部省における話し合いについての説明があった。

III 協議事項

1. 今後の展望について

これまでの 4 校で獣医学部を作るという目的は不変であるが、そこに至る手段として、2 校が先行して九大と獣医学部案を検討することも議論された。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 12 年 5 月 12 日（金）代議委員会終了後

場所： 連合獣医学研究科会議室

第 25 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 6 月 8 日（木）15:00-16:00

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 島田章則(代議委員)

山口大学： 大西堂文(代議委員)、甲斐一成(代議委員)、万場光一

宮崎大学： 伊藤勝昭(代議委員)、永友寛司(代議委員)

鹿児島大学： 岡 達三(代議委員)、出口栄三郎(代議委員)

議題

I 議事録の承認

第 24 回西日本再編整備検討委員会議事録(平成 12 年 4 月 7 日)は原案通り承認された。

II 報告事項

各大学が現状を報告した。

III 協議事項

1. 今後の展望について

これまでの 4 校で獣医学部を作るという目的は不変であるが、そこに至る手段として、2 校が先行して九大と獣医学部案を作ることが了承された。

IV その他

1. 次回再編委員会について

日時： 平成 12 年 8 月 25 日(金)代議委員会終了後

場所： 連合獣医学研究科会議室

第 26 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 8 月 25 日（金）15:00-16:00

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 島田章則(代議委員)、佐藤宏(代議員)

山口大学： 甲斐一成(代議委員)、林 俊春(カリキュラム委員長)、万場光一

宮崎大学： 村上隆之(代議委員)

鹿児島大学： 出口栄三郎(代議委員)

議題

I 議事録の承認

第 25 回西日本再編整備検討委員会議事録(平成 12 年 4 月 7 日)は一部修正して承認された。

II 報告事項

鳥取大学： 種々の会議を開催して、学内で精力的に議論している。

山口大学： 2 校先行案の具体案を宮崎大学と連絡をとりながら作成中である。

宮崎大学： 山口大学と同じ。

鹿児島大学： 自助努力案を検討中である。

III 協議事項

1. 今後の展望について

農学部から理解が得られていない各大学はその獲得に努力を続けるとともに、九大獣医学部の 2 校先行案を進めていくことが了承された。

IV その他

未定

第 27 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 9 月 14 日 (金) 14:30-15:30

場所： 福岡ガーデンパレス

出席者： 徳力幹彦 (委員長)

鳥取大学： 佐藤宏 (代議員)

山口大学： 甲斐一成(代議委員)、万場光一

宮崎大学： 伊藤勝昭(代議員)、村上隆之(代議委員)

鹿児島大学： 岡達三(学科長)、出口栄三郎(代議委員)

議題

I 議事録の承認

第 26 回西日本再編整備検討委員会議事録(平成 12 年 8 月 25 日)の承認は次回に回された。

II 報告事項

鳥取大学： 将来計画委員会など、種々の委員会で検討中である。

山口大学： 2 校先行案を宮崎大学と検討して、純増を増やした。若手の教官も委員に加えた。すでに 23 回の委員会を開いた。

宮崎大学： 7 月 3 日に県庁の課長などが来学、学部長が説明した。江藤代議士から獣医学

部設置場所に関して理解が得られた。

鹿児島大学： 教官数 40 名の自助努力案を検討中である。医学部、歯学部との部局化の話がある。

III 協議事項

1. 今後の展望について

議論がかわされたが、九州大学との交渉に関して農学部から理解が得られている 2 校は、鳥取大学と鹿児島大学の動きとは関係なく、九州大学との交渉を続けていくことになった。。

IV その他

未定

第 28 回拡大西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 10 月 8 日 16:30-18:30

場所： 大坂府立大学コミュニティ？棟 2 階第 4 演習室

出席者： 徳力幹彦（委員長）以下多数。

まとめ

西の四大学の獣医学科全教官に呼びかけて開催された。最初に、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学の各獣医学科長が、現況報告を行い、次いで討議に入った。主として、農学部から九州大学との交渉に理解が得られない鳥取大学の現況と今後について、また、自助努力の道を進んでいる鹿児島大学獣医学科の現況と今後の対応について、活発な意見が交換された。

第 29 回西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 10 月 19 日（木）15:00-17:00

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦（委員長）

鳥取大学： 関根純二郎（学科長）、島田章則（代議員）、佐藤宏（代議員）、太田康彦、原田悦守、日笠喜朗、南三郎、伊藤壽啓

山口大学： 田浦保穂（学科長）、大西堂文（代議員）、甲斐一成（代議委員）、林俊春、鈴木達行、万場光一

宮崎大学： 伊藤勝昭（代議員）、村上隆之（代議委員）

鹿児島大学： 岡達三（学科長）、出口栄三郎（代議委員）、浜名克巳

議題

I 議事録の承認

第 26 回西日本再編整備検討委員会議事録(平成 12 年 8 月 25 日)が承認された。第 27,28 回の議事録の承認は次回に回された。

II 報告事項

委員長から、2 校先行案を文部省に提出する際、国立大学全体の獣医学教育改善に対する具体的な計画、なかんずく、西の鳥取大学と鹿児島大学の獣医学科の教育改善に対する具
体案が必要なことが強調され、鳥取大学と鹿児島大学の現況報告が求められた。

鳥取大学： 将来検討委員会で検討が続けられていること、および現況では農学部の理解
を得ることが難しいことなどが報告された。

鹿児島大学： 将来構想委員会で自助努力案を検討中であること、14 年度概算を目指して
いること、2 校先行案の骨子は学長に報告したこと、などが報告された。

III 協議事項

1. 今後の展望について

さしあたっての緊急課題である、2 校が先行すると連獣が解体する問題に関しては、九大
獣医学研究科と鳥取大学・鹿児島大学の獣医学科がブリッジ方式の大学院を模索すること
が決定された。

IV その他

次回は未定

第 30 回拡大西日本四大学再編整備検討委員会議事録

日時： 平成 12 年 10 月 20 日 () 14:25-14:50

場所： 連合獣医学研究科会議室

出席者： 徳力幹彦 (委員長)

鳥取大学： 関根純二郎(学科長)、島田章則(代議員)、佐藤宏(代議員)、太田康彦、
原田悦守、日笠喜朗、南三郎、伊藤壽啓

山口大学： 田浦保穂(学科長)、大西堂文(代議員)、甲斐一成(代議委員)、木曾康郎、
鈴木達行、万場光一

宮崎大学： 立山晋(学科長)、伊藤勝昭(代議員)、村上隆之(代議委員)、永友寛司、牧村進、

鹿児島大学： 岡達三(学科長)、坂本紘(代議員)、出口栄三郎(代議員)、阿久沢正夫、
杉村崇明、浜名克巳

議題

I 議事録の承認

第 27、28、29 回西日本再編整備検討委員会議事録が一部修正されて承認された。

II 報告事項

委員長から、藤田先生による第 103 回全国国公立大学農学関係学部長会議における「獣医学教育改善に関する臨時委員会」の議事録、獣医学教育関係者連絡会議からの獣医学教育改善に関する要望書、国公立大学獣医学協議会会長からの林国立大学農学系学部長会議会長への要望書、国公立大学獣医学協議会会長からの杉岡九州大学総長への要望書、西日本四大学再編整備検討委員会委員長からの福原宮崎大学農学部長への要望書のコピーが配付され、説明された。

III 協議事項

協議する時間がなかった。

IV その他

次回は未定

第 1 回私的研究会(九州大学獣医学部設置に関する)

日時： 平成 12 年 6 月 29 日(金) 16:00-18:35

場所： 九州大学第一会議室

参加者：

九州大学：

渡辺繁紀(薬学研究院、代表)、居石克夫(医学研究院)、毛利資郎(医学研究院)、古谷野 潔(歯学研究院)前田 稔(薬学研究院)、山崎信行(農学研究院)、藤原 昇(農学研究院)、中別府雄作(生体防御医学研究所)杉岡 洋一(総長、オブザーバー)

鳥取大学農学部獣医学科

上原正人、島田章則、南 三郎

山口大学農学部獣医学科

徳力幹彦(再編委員会委員長)、加藤昭夫(農学部長)、田浦保穂(学科長)、林 俊春、甲斐一成

宮崎大学農学部獣医学科

立山 晋(学科長)、伊藤勝昭、末吉益雄

鹿児島大学農学部獣医学科

岡 達三(学科長)、坂本 絃、出口栄三郎

経過

3. 渡辺先生が、私的研究会の代表ないし世話役として選ばれた。
4. 西日本再編検討委員会から、24 回にわたる議事録、および「鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学の 4 獣医学科合併に寄る獣医学部設置」案と「組織ならびにカリキュラム」案が資料として提出された。

5. 徳力再編委員長が、議事録に基づいて、3年有余にわたる委員会の活動の概略を説明し、山口大学と宮崎大学の獣医学科は農学部から九州大学との交渉に理解を得られているが、鳥取大学と鹿児島大学の獣医学科はまだであると説明した。
6. 学科長（山口大学は農学部長、鳥取大学は代理）が、再編運動における各大学の現状を説明した。
7. これらの説明後、ないし、その過程において、九州大学側から以下のような質問ないし要求が出され、説明可能な場合には参加者から説明された。

(1) 日本の獣医学における理念とは？

(2) 九州大学に獣医学部を設置しなければならない理由とは？

(3) すでに重点化されている九大において、大学院生の必要数は確保できるのか？日本の獣医学における研究者の必要数の調査が必要ではないか？

(4) 西の再編委員会と、獣医学科をもっている国立大学農学部長WGとの整合性は？

(5) この再編運動の農学系への波及効果は？

(6) 報道関係に対する取扱いは？

(7) 大学以外の地方の組織の反応は？

このうち、報道関係に対する取扱いに関しては、私的研究会としては報道関係とは一切接触しないことが合意された。

8. 林カリキュラム委員会委員長が九大獣医学部組織案ならびにカリキュラム案について説明をした。

9. 次回の開催日については、総長、代表、再編委員長が相談して決定することとなった。

各大学の報告の詳細

鳥取大学

農学部から許可の得られない理由： 前例がない。拒否反応。条件闘争に持ち込む必要性がある。

鹿児島大学

20年前から獣医学部案。専門部会の答申： 1. 自助努力。2. 大学全体で考慮。3. 農学部をでた場合のデメリット。現在、動物系だけでなく、植物系も入れて討議。

宮崎大学

4大学と入っていないが、2ないし3の獣医学科の場合には教授会で再討議となろう。県庁と政治家への説明には学部長がこれから行く。

1) 農学部長会議のワーキンググループでは可能のところから進んでいくことになっている。

2) 県庁、農業関係団体への説明は必要であろう。

第2回私的研究会(九州大学獣医学部設置に関する)

日時：平成12年9月25日(金)13:00-15:30

場所：九州大学第一会議室

参加者：

九州大学：

渡辺繁紀(委員長、薬学研究院、)

居石克夫(医学研究院)、毛利資郎(医学研究院)、古谷野 潔(歯学研究院)

山崎信行(農学研究院)、藤原 昇(農学研究院)、中別府雄作(生体防御医学研究所)

鳥取大学農学部獣医学科

関根純二郎、島田章則、南 三郎

山口大学農学部獣医学科

徳力幹彦(再編委員会委員長)、丸本卓哉(前農学部長)、田浦保穂(学科長)

林 俊春、甲斐一成

宮崎大学農学部獣医学科

立山 晋(学科長)、伊藤勝昭、末吉益雄

鹿児島大学農学部獣医学科

岡 達三(学科長)、出口栄三郎

経過報告

- 1) 渡辺委員長が、単独で山口大学獣医学科を訪問し農学学部長と会見したこと、毛利教授とともに宮崎大学獣医学科を訪問して農学学部長と会見したこと、ウィーン獣医大学を訪問したこと、および5人のワーキンググループを作って2校先行案の組織カリキュラム案を検討したことを報告した。この案は叩き台としては十分であるとのことであった。
- 2) 徳力再編委員会委員長が立山教授とともに9月13日に文部省に行き、再編整備問題について話し合ってきたことを報告した。
- 3) 関根鳥取大学学科長：鳥取大学獣医学科は農学部から九州大学と交渉する理解がまだ得られていないが、将来検討委員会、農学部中長期構想部会で検討されていることを報告した。
- 4) 田浦山口大学学科長：山口大学獣医学科のカリキュラム委員は、7月から8月にかけて、3回、宮崎大学獣医学科のカリキュラム委員と福岡で話し合いを行って2校先行による組織カリキュラム案をまとめたこと、獣医学科の代表が事務局長、学長と話し合ったことを報告した。

- 5) 立山宮崎大学学科長： 江藤代議士が福岡に獣医学部を設立する方向で同意してくれたことを報告した。
- 6) 岡鹿児島大学学科長： 農学部のなかで、獣医学科の充実が可能か否かを検討していることを報告した。
- 7) 以上の報告を踏まえて、自由に討論が行われ、種々の意見が交換された。
- 8) 私的研究会はこのまま持続することが決定された。
- 9) 次回： 未定

私的研究会終了後、杉岡総長、柴田副学長、渡辺委員長、渡辺事務局長と、徳力再編委員会委員長ならびに各学科長との話し合いが行われ、山口大学と宮崎大学の 2 校先行による獣医学部案は鳥取大学と鹿児島大学の獣医学科も認めていること、65 歳定年の大学の教官は 63 歳定年の九大にきても公務員法によって 65 歳まで在職可能なことなどが話し合われた。また、九大が公的委員会を立ち上げるには、なんらかの要望書が欲しいとの提案があり、考慮することとなった。